

和歌山県長期人口ビジョンの概要

●長期人口ビジョンとは？

本県における人口の現状と、人口減少がもたらす影響に関する認識を県民と共有するとともに、めざすべき将来の方向を提示したもの

人口の現状

●本県の人口は…

- 1985年（約108万7千人）以降減少
- 2015年現在、約96万6千人
- 65歳以上の人口が27%超

●人口動態は…

◆自然増減について

- 1995年を境に死亡数が出生数を上回り、自然減の状態が続く
- 合計特殊出生率は回復傾向（2005年：1.32→2014年：1.55）

◆社会増減について

- 一貫して社会減の状態
- 県外に進学先や職を求める若年層の転出が顕著
- 大都市圏への転出が顕著

人口の展望とめざす将来の方向

●このまま何も対策を講じなければ…

- 2040年に約70万人程度、2060年には50万人程度まで激減
- 2060年には65歳以上の人口が42%まで増加
- 高齢者1人を概ね現役世代1人で支える人口形態になる

●和歌山県のあるべき将来人口

「高齢者1人を現役世代2人で支える人口形態」を達成するため、2060年に人口70万人を確保する

◆そのためには…

- 産業政策やインフラ等の条件整備を行って働く場を増やすとともに、和歌山の暮らしやすさや和歌山企業の存在をアピールすることで、一定の転出を見込みつつも、転入者を増やし**社会減を抑制する**
- 今以上に子育て環境を良くすることによって、出生率を高め、新しく生まれてくる人を増やすことで、**自然減を減らす**
- これらの状態が継続できるように政策的努力を続けていく